

# 国分寺市 農業委員会だより 第45号

令和4年9月発行

発行 国分寺市農業委員会 〒185-8501東京都国分寺市戸倉1-6-1 TEL042-325-0111(内線394) 市内農地面積:134.34ha(令和4.1.1現在)

## 「都市農地貸借について」説明会を開催します

### JA青壮年部向け

日程：10月18日(火)午後6時～

場所：JA東京むさし国分寺支店2階ホール

第1部：認定農業者制度とメリット

第2部：都市農地貸借について

都市農地の保全のため、農業委員会とJA東京むさし国分寺地区では、都市農地貸借のマッチングを推進しています。今回、左記のとおり、生産緑地の貸借について、具体的な事例を踏まえ制度の説明会を開催します。

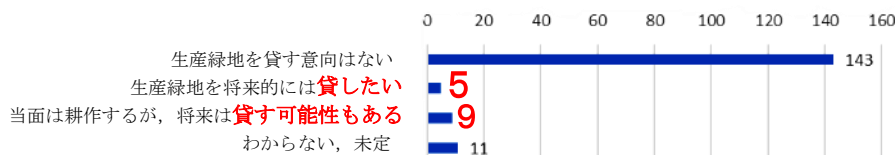
また、認定農業者制度とメリットについて、国分寺市認定農業者相談支援チームメンバーより説明します。



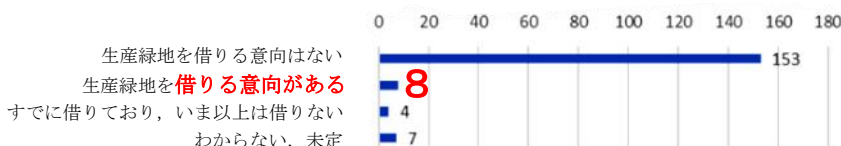
▲令和2年度に実施した説明会

## 令和3年度 都市農地保全調査結果

### 所有する生産緑地を貸し出す意向について (回答者数168)



### 生産緑地を借り入れる意向について (回答者数172)



例年、農業者の皆様には、各種調査にご協力いただきありがとうございます。生産緑地の貸借の意向についてお伺いした「都市農地保全調査」の集計結果をお知らせいたします(一部抜粋)。

生産緑地の貸借について、具体的な相談をされたい方は、農業委員会事務局またはJA東京むさし国分寺支店指導経済課までご連絡ください。



# 農ウォークを3年ぶりに開催



3年ぶりに農ウォーク（7月2日（土））を内藤・日吉町地区で2班に分かれて、開催しました。第17回目を迎えた今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、時間・規模を縮小し、2班編成のうえ、視察コースのスタートとゴールを入れ替える方法で開催しました。

当日は28名の参加者と、共催団体の農業者等と共に、中村克之さん、中村則さん、中村清治さん、中村光利さん、平野哲夫さん、神山正行さん、内藤孝雄さんの7軒の農家の畑を巡り、参加者一同、元気に畑歩きを楽しみました。

農ウォークに参加し、農家さんに対し**親近感**が湧き、努力と共に**安心・安全**が目に見えた。

都市での**野菜づくりの難しさ**と**大切さ**、また相続で面積が減などの事情もわかった。



こくベジについての理解が深まった。今後、こくベジを買って食べることで、**国分寺の畑が続いてほしい**と感じた。

住宅地化による**周辺環境の変化**を受けての**生産の難しさ**のお話が印象深かった。

## 濱野編集委員長（Aコース班長）

参加者は嬉々として収穫体験を楽しみ、植木畑を通過した折には、日常感じることが出来ない植木畑の空間を堪能し、普段聞く機会のない農家さんの説明に傾聴し、お土産のこくベジを受け取り、帰途につきました。

早い梅雨明け後の酷暑の中、体調不良者も無く無事に終了しました。

## 鈴木吉弘委員（Bコース班長）

ジリジリと照り付ける強い日差しの中、熱中症が心配されましたが、植木畑で涼をとり、各農家さんに日除けや休憩所なども配慮いただいたおかげで、無事に全員が歩ききることができました。

ブルーベリーやトマト、赤玉ねぎの収穫を体験し、珍しいヤマモモの実も食べ、参加者からはたくさんの感謝の言葉をいただきました。



# 獣害対策について

獣害による畑の農作物被害が確認された場合は、JA東京むさし国分寺支店へご連絡ください。

農業委員会とJA東京むさし国分寺地区では、農作物への鳥獣害調査を実施し、害獣対策を講じています。ご所有の畑で農作物への被害を確認した場合、箱罾の貸し出しから駆除まで実施しておりますので、JA東京むさし国分寺支店指導経済課までご相談ください。

## ▼市も獣害対策に参画

令和4年度から、市（環境対策課）が東京都が実施する「アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に参画することが決定しました。これは、令和元年8月20日付けで、農業委員会から市長に提出した意見書の内容に基づいて、市として予算措置を講じ、獣害対策に取り組むことに繋がったものであると考えます。



▲令和元年8月20日農業委員会から市長へ要望書提出

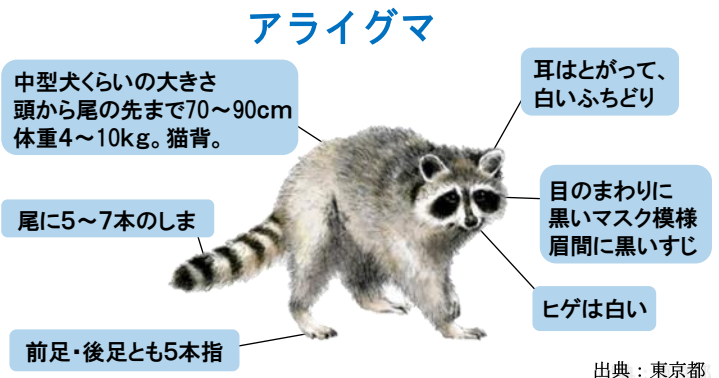
## ▼市の対策の概要

東京都と自治体が連携し、アライグマ・ハクビシンが引き起こす問題※への対策として、専門業者へ委託し、箱罾の設置から駆除までの、防除事業を実施します。

※生活環境の被害（建物でのふん尿による汚損など）や生態系の被害など

## ▼見つけても触らないで！

アライグマやハクビシンは、複数の人獣共通感染症を媒介する可能性があると言われております。また、両種からはペットに重篤な感染症を引き起こす病原体が検出されていますので、ご注意ください。



## Q. なぜ「アライグマ」と「ハクビシン」なの？

A. 「アライグマ」は特定外来生物に指定され、「ハクビシン」は総合外来対策種に指定されており、近年、多摩地域で、生態系・生活環境被害などが、年々増加しているためです。

# 女性農業委員の登用目標を設定

国で推進している第5次男女共同参画基本計画において、農業委員に占める女性の割合を令和7年度までに30%とする成果目標が定められました。国分寺市では、現在の農業委員15名のうち、女性農業委員は2名となっており、**令和7年度までに女性農業委員を5名登用**することを目指していきます。

現農業委員で、女性農業委員の2名にお話を伺いましたので掲載します。

## 鈴木弘子委員



農業委員会の存在は農家に嫁いで初めて知りました。活動に参加する中で、農地に対しての知識が増え、委員の日々はとても勉強になります。

東京で農地を残していくためには、農業委員会の日頃の活動は大切であり、その活動に対して、内側から意見交換が出来る立場に女性のいることの重要性を感じています。市民の皆さんへの「農」に対する理解促進を図るためにも、女性農業委員の必要性とやりがいを感じています。

## 笛田編集委員



農業委員になり、3年目になります。国分寺の緑と農を守りたいと思い応募しました。

東京に住みながら、朝どりの新鮮なこくベジが食べられる幸せ、委員活動の中でのイベントや調査等で農家さんと直接触れ合うほか、私生活で参加している体験農園での「土に触れ身も心も癒される喜び」など、農家さんとは違う目線で、また、女性ならではの目線で「農のあるまち」の重要性を、市民の皆さんにお伝えできればと思っています。



## 農地利用状況調査を実施します

今年度も市内全域の農地の利用状況調査を下記日程で行います。調査当日は、農業委員等が農地の中に立ち入りますので、ご協力をお願いいたします。

調査日	調査実施地域（農地のある地域）
9月29日（木）	東元町・西元町・泉町・本多
9月30日（金）	北町・並木町・新町・高木町
10月5日（水）	内藤・日吉町・東恋ヶ窪・西恋ヶ窪
10月6日（木）	東戸倉・戸倉・富士本
10月7日（金）	西町・光町



## 全国農業新聞購読しませんか

全国農業新聞は週刊の農業総合専門紙で、農業や食、担い手に関する各地域の紹介や農業委員会の取組、農政の動きなどの情報を、お届けしています。（月4回金曜日発行）

お申込みは、農業委員会事務局までご連絡ください。

月 700円（税込）  
（年 8,400円）